



【千葉】ロジックスライン（沢田秀明社長、成田市）へ1月に入社したばかりの牧谷美里さんは28歳。これまでの運送会社では4トワイドを経験し、3社目の同社では大型トラックに乗っている。牧谷さんが運送業に転職したのは、過去に勤務していたドラッグストアがきっかけだったという。「一日に何台も搬入

牧谷美里さん

# 「ガンダムに乗っているみたい」



されるトラックや納品した商品がどんどんはけていく様子を、納品される側の目線で見ていた」という牧谷さん。

「ものを運んでくれる人がいなければ、それを売る店も営業できない。ものがないと人は生きていけない、とありがたみを強く感じた瞬間だった」と振り返る。それに加え、祖父が自営業で営んでいた材木店

で、子どもころに荷台に乗って配達についていった思い出もある牧谷さんにとって、トラックは身近な存在だった。

また牧谷さんは昔からポジティブで、予想がつかないことにあえて挑戦するタイプ。「運送業は男社会。大変だとは思ってたが、やってみないと分からない」と物流業界に飛び込んだ。

大きな車はシンプルにかっこいいと語る牧谷さん。「運転というより操縦している感覚。目線も高いのでガンダムに乗っているみたいだ」と笑う。

現在、航空貨物をメインに扱う。「前職よりかなり神経質にダメージチェックをする。少しの擦れもNGというところもあり、まだ判断が難しい」とし、さらに「荷崩

れしないようにバランスを考え、パズルのように行う荷積みはまだ経験が浅く、難しい。早く先輩方のようにになりたい」と意気込みを見せる。

仕事の楽しさについて、「毎回色んな商品を扱えるのが新鮮で、見ていてとても面白い」と牧谷さん。

今後について牧谷さんは、「ベテランドドライバーの話聞いてみると、どこを通ったら早いとか、頭に地図が入っていてまさに目指すプロドライバーという感じ。自分は地理感覚がないので、早く道を覚えたい」とし、続けて、「荷扱いをうまくできるようなって荷物をきれいに届けたい。それも含めてドライバーだと思おう」と話している。（越後桃子）